

設計図書等に対する質問への回答

教育委員会総務課

工事名 高雄小学校屋内運動場屋根防水改修工事

質問番号 1・2	図面番号 1	設計図書(頁) 2
質問	<p>1. 設計書では、「あご部モルタル詰め」とありますが、施工図では、塩ビシートを立ち上げてアルミ金物押えとなっています。どちらで理解したらよいか。</p> <p>2. 上記の質問で、図面が優先であれば、設計書に「既設アルミアングル撤去」「既設塩ビシート撤去」「下地調整」「立上り塩ビシート接着工法」がありませんが、どのように解釈したらよいか。</p>	
回答	<p>立上り部「既設アルミアングル撤去」「既設塩ビシート撤去」「下地調整」は必要追加項目とし、「あご部モルタル詰め」の上、「立上り塩ビシート接着工法」施工のこととする。</p>	
質問番号 3・4	図面番号 1	設計図書(頁) 2
質問	<p>3. 設計図の立下り部の収まりですが、端末をアルミ金物で収めるようになっていますが、既設の防水層が塩ビシートなので(図面ではシート防水カラー仕上げですが、現状は塩ビシート)、接着して金物押さえは不可能です。(通常、このような収まりはありません)適切な収まりと必要部材を指示ください。</p> <p>4. 立上り入り隅塩ビ被覆鋼板 37.7m とありますが、これだけでは塩ビシートの端末を笠木側しか固定できません。立下り部の出隅の塩ビシートの固定方法と使用部材の図示をお願いします。</p>	
回答	<p>立下り部は、原則として平場と同じ「アンカー固定方法(絶縁工法)」に準じ施工することとするが、詳細は施工に先立ち施工計画書等の承認により決定し、軽微な増減を除き設計変更等に対応する。</p>	